高校会議所
川勝知事と交流会
地域活性化の活動アピール

交流会を終えて出席者が記念撮影

富士宮高校会議所（中村真緒会頭）はこのほど、川勝平太知事との交流会を活動拠点とする西町レトロ館で開いた。メンバー8人が川勝知事を囲み、高校生の視点で地域活性化を目指す取り組みをアピールし、激励や提言を受けた。

同会議所は市内5高校の生徒が集まり、昨年2月に発足。「宮おこし」「街おこし」「学校おこし」の目標を掲げ、学習と提案、実践を重ねる。18歳への選挙権年齢引き下げに伴う主権者意識向上のため、先月の知事選で候補者2人にアンケートを実施したのが川勝知事の関心を引き、今回の交流会につながった。

中村会頭が活動を説明し、まちの課題を探るフィールドワークや有識者との意見交換、地元商店街のにぎわいづくり、観光資源の掘り起こし、地域貢献とビジネス活動の商品開発など幅広い取り組みを示し「富士宮を活性化する中核的組織を目指している」と語った。

川勝知事は盛んな質問を交えて耳を傾け、「学校の枠を超えた素晴らしい活動」と評価した。商店街の空き店舗を無償で活動拠点としている点にも注目し「多くの大人の支えがあり、富士宮のまちの力を感じる」と語った。

市内では県の富士山世界遺産センター（仮称）が12月に開館することもあって「これから世界中の若者が富士宮に集まる」とし、交流の手だてを提案しながら活躍に期待した。

子育て情報を満載
22日、ファミリーめっせ

子育て情報を満載したイベント「ファミリーめっせ2017～ママ&パパ・フレンドリーシティー～」が22日（土）午前10時―午後3時、富士宮市宮町の市民文化会館で開かれる。入場無料。

実行委員会とNPO法人母力向上委員会が主催、富士宮市と市教育委員会が共催する。

パパにお薦めの店や体験の紹介、抱っこひもやおんぶひもの試着会、産後ケアの癒やしのブース、助産師による相談、企業による体験・試食ブース、ハンドメイド・食・ワークショップの出店、子供向け仕事体験など多彩なコーナーが並ぶ。

フードコートでは人気の総菜店の弁当や乳製品、卵不使用のパン、カフェではカフェインレスコーヒーや安心素材の菓子を提供する。大ホールのステージでは「さくやちゃんと撮影会」「みんなで一緒にたすき帖ことはじめ講座」「歌って踊る☆エビカニクス」「みんなが音楽隊！」などのイベントを繰り広げる。ストレッチやマッサージ、菓子作りの各種体験講座もある。

市と母力向上委員会が協働して実施しているふじのみやベビーステーション（ベビ＊ステ）事業の関連イベントとして、「レシート集めて抽選会」も実施する。ベビ＊ステ登録店の300円以上購入レシート1枚につき1回、景品が当たるくじ引きができる。1人3回まで。レシートは6月10日以降が対象。

問い合わせは母力向上委員会（☎0544780741）。専用ウェブサイトに詳しい情報を掲載している。

富士登山の魅力発信
富士宮市が現場を取材

富士宮市は富士山の魅力を現場から発信しようと、初の試みとして情報発信課の職員が9合目の山小屋（万年雪山荘）を拠点に取材活動を展開する。第1弾が21日（金）―23日（日）、第2弾が28日（金）―30日（日）。職員2人ずつが2泊3日で滞在し「情報発信課MI9（mt. fuji information @9th station）」を開設する。

来年7月1日発行の「広報ふじのみや」の特集記事に向けて取材するほか、期間中は市の公式フェイスブックで富士山からの記事を随時配信する。

富士山は市民にとって身近な存在だが、実際に登ったことのある人が少ないことから、来年の広報7月号で、富士山に携わる人たちや富士山の素晴らしさ、富士登山の安全対策などを知ってもらう特集記事を企画。「富士山の登山口を持つ限られた市町でしかできない特集に」と、さまざまな情報を求めて大型取材を敢行する。

取材の主な対象は▽5合目から頂上までの山小屋の内部▽登山道や登山者の様子▽浅間大社奥宮の様子（結婚式を含む）▽山頂火口や影富士などの風景▽フリー素材として各メディアに提供できる映像の撮影▽安全で楽しい富士登山に向けた山小屋や関係者のメッセージ▽登山者の安全を守る取り組み（指導センター、衛生センター、富士山岳遭難救助隊）▽富士山の環境を守る取り組み（山小屋のごみやトイレなどの状況）。

ひざを痛めない体の使い方
太極拳に学ぶ講座

富士宮市青木の富丘公民館で22日（土）と8月5日（土）、「武当太極拳に学ぶひざを痛めない体の使い方」をテーマとした講座が開かれる。両日とも午後1時半―3時45分。参加無料。定員は各日15人。対象は膝に不安のある人、太極拳に興味があり、健康維持に取り入れてみたい人など。指導は気功太極拳の会の遠藤進さん。参加者は軽い運動ができる服装、運動靴、タオル、水分補給の水やお茶などが必要。問い合わせは遠藤さん（☎05446609004、午後5時―8時）。

オブリックで夏祭り
22・23日、食と体験、特売も

富士宮市田中町のエネルギー関連会社オブリックで22日（土）と23日（日）、夏祭り「サマーフェスタ」が開催される。

主な内容は、ガス器具や防災グッズを集めた大特価コーナー、遊具「ふわふわ」が並び、来場した子供にかき氷をプレゼントするキッズコーナー、多数の屋台が出店するフードコーナー、水素で作るシャボン玉や最新起震車の体験コーナー、エネごりくんとの記念撮影。

目玉は水素カーを使ったミニカーレース大会。流しそうめん（午前11時と午後2時からの2回）も用意する。

両日とも午前10時開始、22日が午後7時、23日が午後5時まで。問い合わせは同社（☎0544242211）。

富士山を知るそば打ち体験
富士山麓山の村

富士宮市粟倉の県立富士山麓山の村でこのほど、223（ふじさん）を知ろう講座のそば打ち体験が行われた。富士・富士宮市を中心とする県内各地の20人が受講し、専門家の手ほどきを受けた。

講師には、富士宮市西山で芝川商工会女性部が運営する「そば処黒門」から芦澤貞江代表らを迎えた。受講者たちは講師の解説と実演に沿って、小麦粉に水を加えて練り、薄く伸ばした生地を折りたたんで慎重に包丁を入れた。自分が打ったそばを土産として持ち帰り、講師が実演で仕上げたそばを試食した。

世界遺産富士山の自然や環境、文化などを紹介するシリーズ講座で、今回は世界遺産の「和食」に注目し、郷土の名物を取り上げた。

協力して生地を広げる（提供写真）

1泊2日の宿泊体験で募集

富士山麓山の村は8月21日（月）22日（火）の1泊2日で「山の村夏の宿泊たいけん」を実施するため、参加者を募集している。

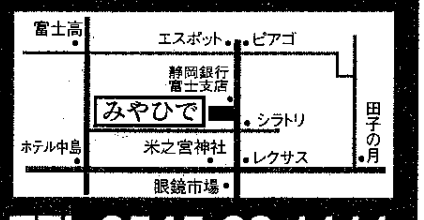
対象は家族またはグループ。参加費は1人1800円（夕食、朝食付き）。定員は12組（申し込み先着順）。詳しくは山の村（☎0545362236）。

県民の日協賛事業で、創作活動や富士山麓ウオークなど交えて、さまざまな自然体験学習を提供する山の村の取り組みを紹介する。

理容福祉いこい
訪問在宅カット…2,700円～（税抜）
※ケアマネ紹介時は交通費は頂きません
TEL:(0545)71-4042（担当:遠藤 勉）富士市厚原1929-1

串焼の店
八壽龍（やすりゅう）
富士市中央町一丁目五番一号
電話〇五四五（五二）二八八九

マイクロバス観光の事なら
お気軽にご相談ください
一般貸切旅客自動車運送事業　中運自旅一第265号
楓観光有限会社
富士市伝法2985-4　TEL.0545-55-3717
KAEDE KANKO BUS

おひなさま相談会
初めてのお雛さま選び、まずは「みやひで」から始めましょう
8/8(火)～迄　みやひで富士店1階にて開催中
◆新作ひな人形をお手にとってゆっくりとご覧いただけます。
◆大人の為のおひなさま（MYひな）ご相談・ご来店の日程のご予約も承ります。
◆重陽（9月9日の菊の節句）にやっておきたいお手入れ、保管等のご相談。
人形のみやひで
富士市米之宮町28（シラトリスポーツ西側）
営業時間　10:00～17:30


TEL 0545-66-1111